

フリガナ
氏名

受講コース

生年月日

西暦

住所

電話番号（携帯電話可）

Eメールアドレス

現在の勤務先・学校名等

通学の交通手段

最終学歴

（中・高・専門学校・短大・4年大学・大学院）卒／在籍中 ・ その他

職歴

日本語教授経験
（ボランティア等含む）

日本語以外の語学力

パソコンスキル

ほとんど分らない・メール・Word・Excel・PowerPoint・Keynote・ほとんどできる

その他免許・資格

利用規約の同意書

私は別紙利用規約に同意し、セントラルジャパン日本語学校 日本語教師養成講座の受講を申し込みます。

記入日：20 年 月 日

氏名： _____ 印

申込者が未成年者の場合は以下に親権者が記入。

私（親権者）は、別紙利用規約に同意し、上記の者が講座を受講することに同意します。

親権者 住所： _____

氏名： _____ 印

利用規約

第 1 条 (申込み)

1-1 本講座の受講を希望する方は、本規約を遵守することに同意し、かつ規定の申込書を当校に提出、受講料のご入金、その後セントラルジャパン日本語学校（以下、「当校」）の入金確認をもって講座のお申込みが完了したことになります。

1-2 当校は、以下のいずれかの事由に該当する場合はお申込みをお断りすることがあります。また、その理由について一切開示義務を負いません。

- (1) 当校に提出した申込書の全部または一部につき虚偽があった場合
- (2) 未成年で法定代理人の同意等を得ていなかった場合
- (3) 反社会的勢力等（暴力団、暴力団員、右翼団体、その他これに準ずる者を意味します。）である場合
- (4) その他、申込を適当でないと当校が判断した場合

第 2 条 (受講期間・日程)

2-1 春季コース 4月～3月 秋季コース 10月～9月

2-2 各年度スケジュールは、年度毎に更新します。

第 3 条 (教育科目・単位時間)

3-1 受講時間合計 450 時間（1 単位時間 45 分）

科目名	単位時間
開校前オリエンテーション	1
日本語教育の文法	21
第二言語習得理論と文法	24
言語理解の課程と読解・聴解教育	12
言語理解の課程と語彙教育	9
ICTと教育	21
日本語の音声	12
言語コーパスの利用と教材作成への応用	6
コミュニケーションと話す能力の育成	9
コミュニケーションと書く能力の育成	6
外国語教授法概論	9
異文化理解の過程と心理	6
協働学習の理念と技法	6
文字の教育	6
中・上級の授業	9
コースデザイン	6

科目名	単位時間
教育実習	220
授業見学	10
世界の日本語教育事情	3
日本語教師の自己成長	3
言語学概論	6
学習ストラテジー	6
談話研究と日本語教育への応用	3
対照言語学(日中)	3
日本語教育史	3
日本語史	3
評価法	6
多文化共生施策	3
多文化共生と地域日本語教育	6
日本の難民問題と日本語教育の必要性	3
日本語教師としてのキャリアデザイン	6
日本語教師という仕事	3

第 4 条 (修了要件と認定)

4-1 各科目の試験、レポート等の評価が「優・良・可・不可」の「可」以上であり
各科目の出席率が 90%以上であること。

4-2 450 単位中必須科目 440 単位時間以上に合格しないと修了認定はされません。
(点数が足りない場合は再試験を行います。)

必須科目は以下の 29 科目

①日本語教育の文法②第二言語習得と文法③言語理解の過程と読解・聴解教育
④言語理解の過程と語彙教育⑤ICT と教育⑥日本語の音声⑦言語コーパスの利
用と教材作成への応用⑧コミュニケーションと話す能力の育成⑨コミュニケーション
と書く能力の育成⑩外国語教授法概論⑪異文化理解の過程と心理⑫協働学習の
理念と技法⑬文字の教育⑭中・上級の授業⑮コースデザイン⑯教育実習⑰授業見
学⑱世界の日本語教育事情⑲日本語教師の自己成長⑳言語学概論㉑学習スト
ラテジー㉒談話研究と日本語教育への応用㉓対照言語学(日中)㉔日本語教育
史㉕評価法㉖多文化共生施策㉗多文化共生と地域日本語教育㉘日本の難民問
題と日本語教育の必要性㉙日本語教師という仕事

第 5 条 (割引制度)

5-1 学生割引・多文化共生割引
(割引の併用はできません。)

第 6 条 (クラス定員)

6-1 各学期 20 名までとします。

6-2 最小開講人数は 5 名です。5 名に満たない場合は開講しない場合もあります。

第 7 条 (休校・補講と在籍)

7-1 当校の事情、あるいは災害等によりクラスが休校になった場合は、補講を行います。

7-2 個人の都合により欠席された場合は、次期での振替え受講ができます。

(追加料金なし)

7-3 当該期での振替え受講をご希望の場合、2 回目以降の補講には追加料金がかか
ります。(1 回につき 5,000 円)

7-4 在籍は 3 年までです。単位認定に満たなかった科目は、次期での受講が可能です。

第 8 条 (個人情報の取扱い)

8-1 個人情報の利用目的

ご提示いただいたお客様個人に関わる情報は、商品サービス・ダイレクトメールの送
付・就職情報の紹介等のご提供のために利用します。また、学校広報のためお客
様の肖像及び音声を使用・複製(SNS 掲載を含む)させていただきます。お客様の
承諾なしに他の目的には使用しません。

8-2 個人情報の第三者提供

当校でお預かりした情報は、ご本人への事前承諾を得た場合または法令の定め

より提出を求められた場合を除き、第三者への提供・取扱い委託をすることはありません。

8-3 個人情報開示

個人情報の開示・変更・削除の求めがあった場合は、ご本人確認後速やかに対応します。

第 9 条 (返金規定)

9-1 クーリング・オフ期間

当該講座の申込書の受領日から 8 日間 (土日祝日含む) を経過するまでの間は、受講者は書面によって契約の解除を行うことができます。クーリング・オフの効力は契約解除の書面を発信した時 (郵送の場合は消印日付) から生じます。振込手数料は当校が負担します。

9-2 クーリング・オフ期間経過後、受講開始前の契約解除

入学金は返金いたしません。授業料は全額返金いたします。ただし、教材をすでにお渡ししている場合、教材費は返金いたしません。また、振込手数料は受講生のご負担となります。

9-3 受講開始後の契約解除

入学金は返金いたしません。受講料は「未受講分の金額」から「キャンセル手数料」を差引いた金額を返金します。教材費は返金いたしません。また振込手数料は受講生のご負担となります。

・未受講分の金額 = 受講料総額 - (受講料総額 ÷ 全講座週数) × 経過講座週数

・キャンセル手数料 = 未受講分の金額の 20%

第 10 条 (規約の変更等)

10-1 当校が必要と認めた場合、受講者の承諾を得ることなく本規約の内容を変更することができるものとします。

以上